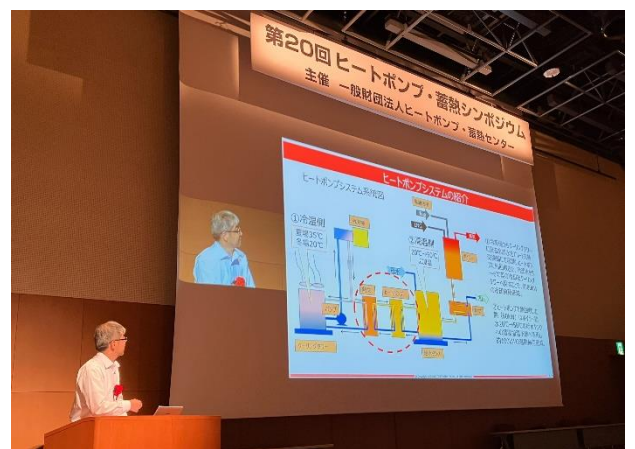


2023年7月25日

第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム
「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」にて
味の素冷凍食品（株）が優秀賞を受賞
 ～ヒートポンプによるボイラー給水加温とメンテナンスの簡素化が評価～

味の素冷凍食品株式会社（社長：寺本博之 本社：東京都中央区）は、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターが主催する「第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の令和5年度「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」部門にて優秀賞を受賞しました。当社九州工場でのヒートポンプ導入によるボイラー給水加温の実現や、ヒートポンプシステム内に熱交換器を入れたことなどによるメンテナンス簡素化の工夫が、「未利用エネルギーを活用した圧縮式ヒートポンプシステムの改修・工夫により効果があった事例」として評価されました。また、「第20回ヒートポンプ・蓄熱システムシンポジウム」が2023年7月24日（月）に開催され、当社生産本部九州工場製造部製造技術グループ長の田中誠（左下写真の中央）が登壇し、今回受賞した改善事例の発表を行いました。



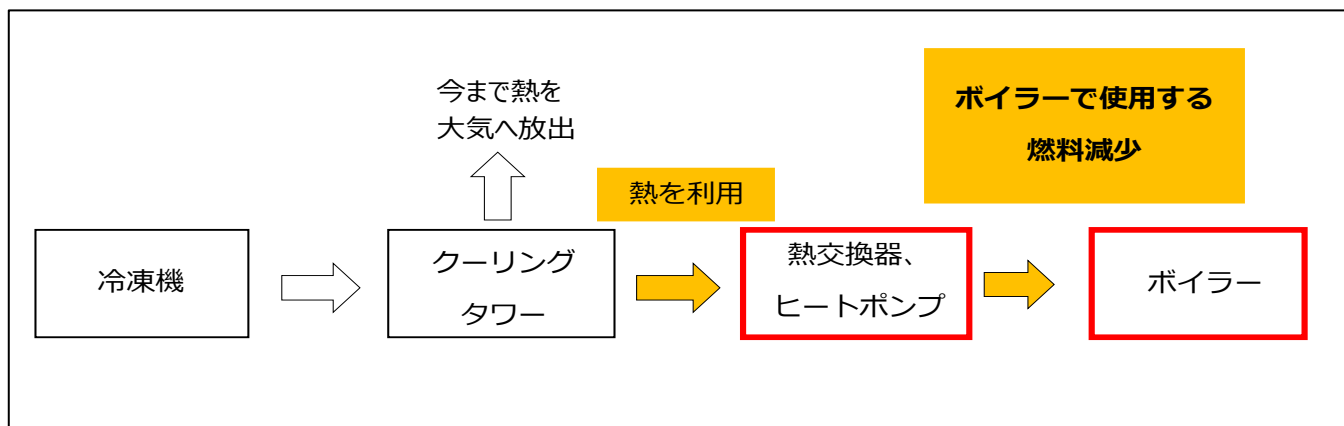
【第20回ヒートポンプ・蓄熱システムシンポジウム】表彰式

味の素冷凍食品（株）のヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例

今回受賞対象となった「ヒートポンプ導入によるボイラー給水加温」システムでは、冷凍機の冷却水を冷やすために用いられるクーリングタワー（冷却塔）からの排熱を有効活用するためヒートポンプで熱回収を行い、さらに、その熱をボイラー給水の加温への活用、及び熱交換を行うことで、冷却された水をクーリングタワーに供給しました。これにより冷却負荷が低減し、冷温同時供給システムを実現しました。

さらに、軽量・シンプル設計のMDI社製小型ヒートポンプを採用することで、修理や交換の際でも簡単に工事ができるようにしました。また、システムの中にプレート式の熱交換器を入れたことにより、熱交換器の汚れによるヒートポンプの性能低下を抑制し、今後のメンテナンスの簡易化を実現しました。今回の改善により23.8t/年のCO₂を削減しています。

【ヒートポンプ導入による給水加温システム簡略図】



「ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」について

「ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」は、ヒートポンプ・蓄熱システムの運用管理に携わる方々の啓発と建物オーナー、設計者、施工者および運転管理に携わる方々の連携を図ることを目的に、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターにより開催されているシンポジウムです。

「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」は、蓄熱システムの運転管理・運用・設備の改良（“運転管理等”と言う）などにより、改善に効果があった事例の中から、その開発や改善プロセスにおける努力に対して、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターが評価・表彰するものです。これにより、運転管理に携わる方々への更なる啓発を促すとともに、省エネルギー性、環境性、経済性等の一層の向上に役立てることを目的としています。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」

URL : <https://www.hptcj.or.jp/library/tabid/267/Default.aspx>

※「第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の内容は後日公開予定

味の素冷凍食品（株）のサステナビリティの取り組み

味の素グループでは2030年までに「環境負荷50%削減」を掲げており、当社では、今回の受賞した取り組み以外にも、「温室効果ガス削減」「プラスチック削減」「フードロス削減」「サステナブル調達」のためのさまざまな取り組みを強化しています。特に温室効果ガス削減においては、国内全工場の大型急速フリーザーの脱フロン化などを実施し、サプライチェーンで一体となって環境負荷低減の取り組みを推進しています。今後も当社は、持続可能な社会の実現に貢献するために、地球環境と調和した企業活動の継続的改善に努めていきます。

当社公式サイト「味の素冷凍食品（株）のサステナビリティ」

URL : <https://www.ffa.ajinomoto.com/sustainability>